

# 令和4年度9月定例記者会見 次第

日時：9月26日（月）13時30分

会場：糸島市役所 庁議室

## 【出席者】

〔伊都国記者会〕朝日新聞社、糸島新聞社、西日本新聞社、毎日新聞社、  
読売新聞社、NHK福岡放送局、時事通信社

〔糸島市〕市長、副市長、教育長、関係課（下記参照）

## 1 市長あいさつ

## 2 案件

### （1）市長発表

①船越漁港に常設のカキ小屋が完成 水産林務課

②糸島観光大使の就任について ブランド政策課

③食品ロス削減に向け「てまえどり」の取り組みを推進 環境政策課

### （2）その他

## 3 懇談・その他

■次回定例記者会見の開催日時（予定）

日時：10月25日（火）13時30分～

場所：糸島市役所 庁議室

県の交付金と市の水産業振興対策事業補助金を活用

## 船越漁港に常設のカキ小屋が完成

### 10月4日 竣工式・完成披露会

船越漁港に、常設カキ小屋（7棟）が完成し、10月4日に竣工式及び完成披露会が開催されます。糸島漁業協同組合のカキ小屋常設は、令和元年度の岐志漁港（9棟）に続き2漁港目です。糸島市には、冬の風物詩「糸島カキ」を求め、25軒のカキ小屋などに年間42万人を超える観光客が訪れます。

また、船越漁港のカキ小屋では、冬場の漁閑期に約260人の雇用を生み出しています。今回のカキ小屋常設により、一層の地域水産業の振興と漁村の活性化が期待されます。

#### 1 竣工式

令和4年10月4日（火）10時開式

（完成披露会は、竣工式終了後開催）

#### 2 事業の概要

（1）事業主体 糸島漁業協同組合

（2）施設

- |         |               |
|---------|---------------|
| 1) 名称   | カキ小屋：7棟       |
| 2) 構造   | 鉄骨造平家建て       |
| 3) 面積   | 285.0㎡/棟      |
| 4) 客席数  | 約300席/棟       |
| 5) 関連施設 | 浄化槽（442人槽：1基） |



（3）総事業費：407,875千円（税抜：370,796千円）

内訳：185,398千円／県費

：11,662千円／市費

：210,815千円／漁協負担

#### 【問い合わせ先】

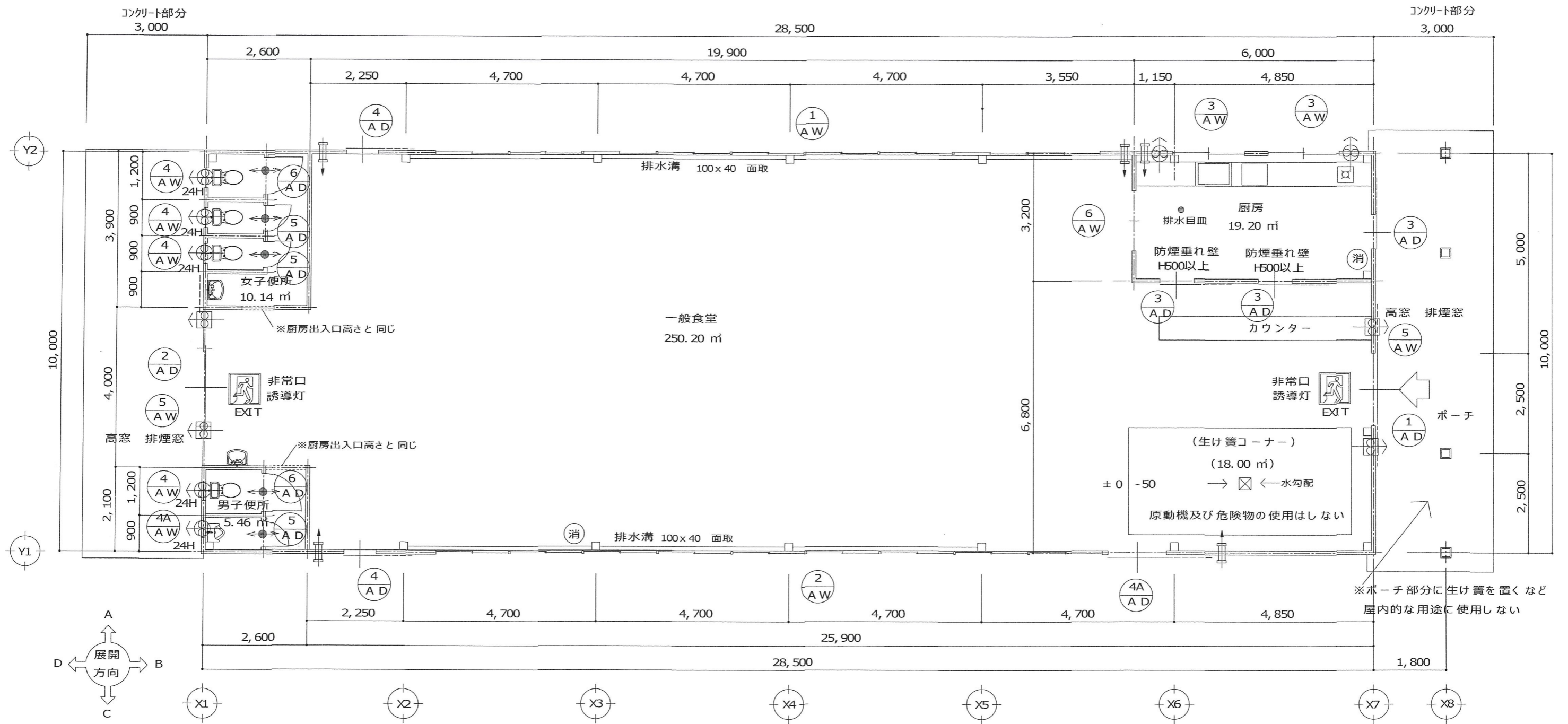
糸島市 農林水産部 水産林務課

担当：後藤、久原

電話番号：092-332-2088

メール：suisanrinmu@city.itoshima.lg.jp





ホルムアルデヒド対策 凡例

- ◀➡ アンダーカット (15mm) 又はドアガラリ 若しくは引戸
  - ← 給気口又は排気口若しくは通気パス (常時開放型)
  - ⊕ 24H ホルムアルデヒド対策換気扇 (24対応)
- ※室内仕上及び小屋裏等材料は F☆☆☆☆以上を使用すること

消 消火器 (10型) 2箇所

換気扇 4台 (両妻外壁)

1階 平面図 S = 1:100

延べ床面積 285.00 m<sup>2</sup>

建築面積 303.00 m<sup>2</sup>

※非常用照明装置の緩和 (H12建告1411)  
避難階の屋外への出口までの歩行距離  
28.5m ≦ 30m

面積表		
一般食堂	232.20 m <sup>2</sup>	250.20 m <sup>2</sup>
生け簀コーナー	18.00 m <sup>2</sup>	
厨房	19.20 m <sup>2</sup>	
女子便所	10.14 m <sup>2</sup>	15.60 m <sup>2</sup>
男子便所	5.46 m <sup>2</sup>	
計	285.00 m <sup>2</sup>	

- ① AW 1箇所 W=1700 H=1405 引違い窓9連
- ② AW 1箇所 W=1700 H=1405 引違い窓9連
- ⑤ AW 2箇所 W=900 H=610 内倒窓2連

【訂正・修正・変更・追記】

① 厨房オープンカウンター中止 2021.09.18

工事名称 船越牡蠣小屋新築工事

No.20210802 製図・修正 / 2022.02.21

図面名称 ③～⑥ 平面図

縮尺 1/100

図面種別 図面番号  
A 08

一級建築士事務所 ユノキ設計  
YUNOKI ARCHITECT OFFICE  
1級建築士第134613号 柚木利道

糸島市の魅力を PR

## 10組(うち新規5組)が糸島観光大使に就任

10月1日から、国内外で活躍する10組(8人、1団体、1匹)のみなさんに、糸島観光大使として糸島市の魅力を積極的に発信していただきます。

このことにより、糸島市の観光推進やブランド力向上に繋がります。

### 1. 糸島観光大使の役割

- ▶ 市の自然や文化、観光、産業、糸島での暮らしや営み、イベントなど、市の魅力を国内外に向けて発信します。
- ▶ 市の認知度向上とイメージアップに関する活動を行います。

### 2. 糸島観光大使の委嘱

観光大使は、市の観光振興に深い理解と関心があり、観光振興の推進及び情報発信に大きな効果が期待できる人たちに、市長が委嘱します。

### 3. 糸島観光大使 10組

▼詳細は別紙参照

※新規5組：池畑慎之介、瀬戸勇次郎、濱洋一、林咲希、もんだ(猫)

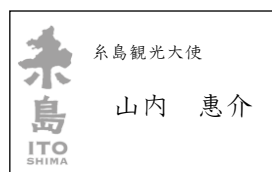
※再任5組：糸島二丈絆太鼓、小川啓華、須田邦裕、ニック・サーズ、山内恵介

▼任期 令和4年10月1日～令和6年9月30日(2年)

- ・市から、委嘱状、木札のネームプレート、名刺を送ります。
- ・就任後は、毎月、広報紙及び市のイベント情報を送付します。



木札のネームプレート



名刺(表)



名刺(裏)

※ロゴマークは活版印刷

#### 【問い合わせ】

経済振興部 ブランド政策課 観光振興係

担当：長谷川、小野

TEL：直通：092-332-2080 内線：1281



メール：[brand@city.itoshima.lg.jp](mailto:brand@city.itoshima.lg.jp)

# 糸島観光大使


【個人】

五十音順、敬称略

写真	氏名	肩書	プロフィール
	いけはた しんのすけ <b>池畑 慎之介</b>  2019年までは芸名「ピーター」として活躍。	俳優・歌手	舞台や映画など数々の作品に出演するとともにバラエティー番組にも出演。 令和4年10月から、RKBラジオ「ピーターの糸島大好き！いとしまにあ」をスタート
	おがわ けいか <b>小川 啓華</b>	書道家	前原出身。 16歳で書道の師範免許を取得し、現在、東京を拠点に書のパフォーマンス、書道教室、作品提供など幅広くご活躍 『天地明察』（岡田准一、宮崎あおい出演）の題字制作など
	すだ くにひろ <b>須田 邦裕</b>	俳優	志摩姫島出身。 ドラマ「半沢直樹」、「ルーズベルト・ゲーム」、「DCU」映画「ここに、幸あり」、「永遠の0」などほか多数出演
	せと ゆうじろう <b>瀬戸 勇次郎</b>	柔道家 2020年東京パラリンピック柔道男子66kg級銅メダリスト	前原出身。 4歳で波多江柔道スポーツ少年団に入団し柔道を開始。高校3年の時、全国視覚障害者学生柔道大会に出場。2022年3月福岡教育大学卒業。教員になるため、大学院への進学準備中。
	ニック・サーズ	Fukuoka Now 編集長	志摩居住。カナダ・トロント出身。 福岡を拠点に九州の魅力を伝える英語&日本語メディア Fukuoka Now を1998年に立ち上げ現在に至る。世界中の九州ファンを繋ぐ YouTube チャンネル@KyushuLive（九州ライブ）では、ライブ配信で九州各地の魅力を発信中。
	はまな よういち <b>濱 洋一</b>	映像作家、音楽プロデューサー	前原居住。 映像作家、音楽プロデューサー、写真家など幅広く活動。 2022年6月に糸島映画「猫の記憶」の撮影、11月頃上映予定

写真	氏名	肩書	プロフィール
	はやし さき 林 咲希	バスケットボール選手 2020年東京オリンピック銀メダリスト	前原出身（前原中学校バスケットボール部） 女子日本代表バスケットボール選手。サンフラワーズ所属。
	やまうち けいすけ 山内 恵介	演歌歌手	前原出身。 平成27年から令和3年まで7年連続NHK紅白歌合戦に出場。

### 【団体】

写真	氏名	肩書	プロフィール
	いとしまにじょうきずなだ いこ 糸島二丈 絆 太鼓	糸島市二丈に拠点を置く子どもたちの太鼓集団	3歳児から高校3年生までの子どもたちで結成する太鼓集団。

国内のコンサートはもとより、イタリア、フランス、シンガポール等海外遠征も実施。

### 【その他】

写真	氏名	肩書	プロフィール
	もんた	SNS で人気の猫	糸島在住。 2019年8月生まれのオスで日本の雑種猫。 母親からはぐれ、独りでいるところを保護され、市外の譲渡会で現在の飼い主と出会う。 複数の病気を抱え、治療を続けながら糸島で暮らしている。 YouTube「もんたの日常」で人気。



もんたの日常

(youtube)

チャンネル登録者数 17.4万人

## 食品ロス削減に向け「てまえどり」の取り組みを推進

日本では、年間約522万トン(国民1人当たり約113グラム/日)(※)の食品ロスが発生しており、SDGs推進の観点から、その削減が求められています。(※総務省人口推計 2022.10.1、令和元年度食糧需給表 確定値)

そこで、全国のコンビニエンスストアなどで導入が進んでいる「てまえどり」の取り組みについて、本市においても、下記の内容で各事業所に取り組み協力を呼びかけます。

すぐに食べる食品を購入する場合は、販売期限が比較的短い、手前に並べられた商品を積極的に選んでもらうことで、食品ロスの削減に努めます。

### 《糸島市「てまえどり」啓発活動》

- ◆開始日 令和4年10月1日～(食品ロス削減月間に合わせスタート)
- ◆実施方法 対象事業者(日配品、生鮮食品、総菜などを取り扱う市内店舗)に、啓発用ポップ(商品棚レール用・吊り下げ用 各1,000枚)を配布  
※各ポップデータは、市ホームページからダウンロードして使用可
- ◆事業費 94,000円(印刷製本費)  
※ポップは、市内在住の鬼嶋幸治さん(フリーランスデザイナー)が無償でデザイン。

### ～参考(他団体の状況)～

- 福岡県が令和4年5月～セブンイレブンで試行的に導入
- 福岡都市圏では、志免町、宗像市が導入済み



上：商品棚レール用ポップ  
左：吊り下げ用ポップ

### みんなで取り組む “いとしま”のSDGs

糸島市の“豊かさ”を継承し、持続可能なまちの実現を目指し、市民、事業者、学校、行政などが連携して、SDGsの取り組みを推進していきます。

### 【問い合わせ先】

糸島市 生活環境部 環境政策課

電話：092-332-2068

メール：kankyo@city.itoshima.lg.jp